

# 平成 21 年度 特定領域研究「統合脳」5 領域 冬の公開シンポジウム、合同領域班会議

日時： 平成 21 年 12 月 17 日（木）～19 日（土）  
12 月 17 日（木） 午後 13：00-18：00 公開シンポジウム  
12 月 18 日（金） 終日 領域班会議  
12 月 19 日（土） 午前 領域班会議  
午後 13：30-16：30 ポスターコアタイム

## 《班会議スケジュール》

第 1 領域 18 日（金） 09：30-16：35  
19 日（土）（2～5 領域班会議に参加）  
第 2 領域 18 日（金） 09：00-17：50  
19 日（土） 09：00-13：05  
第 3 領域 18 日（金） 09：00-17：50  
19 日（土） 08：55-12：10  
第 4 領域 18 日（金） 09：00-17：30  
19 日（土） 09：00-11：30  
第 5 領域 18 日（金） 09：00-16：10  
19 日（土） 09：00-11：50

場所： 一ツ橋学術総合センター （第 1 領域班会議のみ学士会館）  
主催： 文部科学省特定領域研究「統合脳」5 領域  
問い合わせ先： 「統合脳」実行委員会 小松英彦（生理学研究所） komatsu@nips.ac.jp  
「統合脳」事務局 高田昌彦（京都大学霊長類研究所） takada@pri.kyoto-u.ac.jp  
ホームページ <http://www.togo-nou.nips.ac.jp/>

第1領域班会議のみ学士会館で行われます。ご注意ください。

学士会館の場所は巻末の周辺地図を御覧下さい。

12月17日(木)	<u>公開シンポジウム</u>	: 2F 一橋記念講堂
12月18日(金)～19日(土)	<u>班会議</u>	第1領域: 学士会館 210号室
		第2領域: 2F 一橋記念講堂
		第3領域: 2F 中会議室 1+2
		第4領域: 2F 中会議室 3+4
		第5領域: 1F 特別会議室
	<u>ポスター</u>	: 2F 通路および会議室 202+203

◆自動販売機 : 下記にあります

- ・1階喫煙室横 2台
- ・2階エレベーターホールと身障者トイレ間の通路 2台
- ・3階食堂横 3台

◆食堂・喫茶店 : 3階にあります(営業時間 昼 12:00～14:00、夜 17:30～20:00 土日祝日休業)

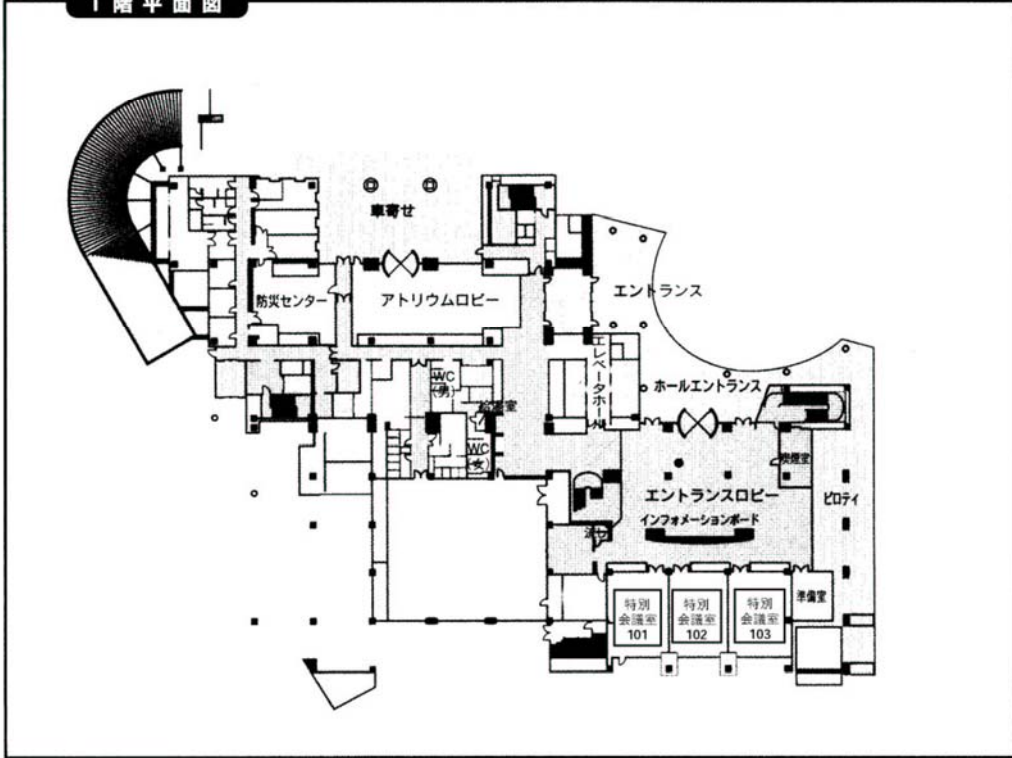
◆クロークおよび荷物置き場: ありませんので荷物は会場にお持ち下さい

◆周辺お食事場所: プログラムの最後に掲載してあります

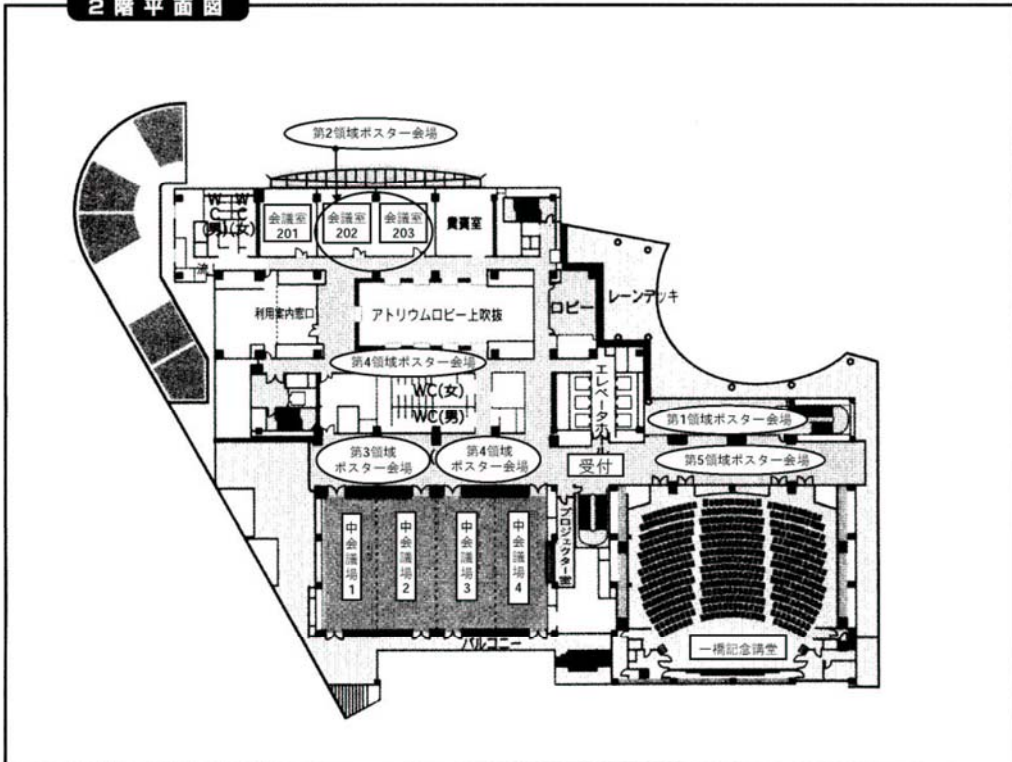
※会場へ再入場される場合は、このプログラムを警備員の方に提示してください。

# 平面図

## 1階平面図



## 2階平面図



# 公開シンポジウム

12月17日(木)

13:00~18:00

12月17日(木) 午後

公開シンポジウム

- 13:00-13:05 開会の挨拶 丹治 順 (玉川大学脳科学研究所)
- 13:05-13:55 第1領域 (司会 伊佐 正・生理研)  
ヘンシュ 貴雄 (理研 BSI)  
「経験に依存する脳の形成メカニズム」
- 13:55-14:45 第2領域 (司会 藤田一郎・大阪大学)  
田中 啓治 (理研 BSI)  
「下側頭葉皮質と物体認識：細胞集団による情報表現」
- 14:45-15:05 休憩 (20分)
- 15:05-15:55 第3領域 (司会 渡辺雅彦・北海道大学)  
狩野 方伸 (東京大学)  
「シナプスの刈り込みと神経回路発達」
- 15:55-16:45 第4領域 (司会 三品昌美・東京大学)  
能瀬 聡直 (東京大学)  
「運動機能を生む分子・シナプス・回路のダイナミクス」
- 16:45-17:05 休憩 (20分)
- 17:05-17:55 第5領域 (司会 西川 徹・東京医科歯科大学)  
貫名 信行 (理研 BSI)  
「神経変性発症予防に向けたクリーン戦略」

## 第 1～5 領域 班会議

12月18日（金）終日

12月19日（土）午前

12月18日(金)

第1領域～第5領域 班会議

第1領域

「統合脳」

司会：ヘンシュ貴雄（午前）、高田昌彦（午後）

- 09:30-09:35 挨拶 丹治 順 代表
- 09:35-09:50 福土 審 (東北大学・大学院医学系研究科・行動医学分野)  
「内臓感覚を形成する脳機能モジュール」
- 09:50-10:05 澤村 裕正 (東京大学・医学部附属病院・眼科)  
「狂犬病ウイルスを用いた大脳視覚野背側腹側経路の機能連関の解剖学的解明に関する研究」
- 10:05-10:20 高橋 宏知 (東京大学・先端科学技術研究センター・生命知能システム分野)  
「音の認知・認識における聴皮質の役割」
- 10:20-10:35 伊澤 佳子 (東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・システム神経生理学)  
「サクケード発現・抑制に関するサル上丘吻尾方向の機能分化と前頭眼野抑制野との神経回路」
- 10:35-10:50 宮地 重弘 (京都大学・霊長類研究所・行動神経研究部門・高次脳機能分野)  
「前頭前野—側頭連合野—海馬連関による記憶メカニズムの神経生理・解剖学的研究」
- 10:50-11:05 休憩
- 11:05-11:20 美馬 達哉 (京都大学・大学院医学研究科・附属高次脳機能総合研究センター)  
「金銭的報酬課題によるヒト脳可塑性の変化—fMRIと磁気刺激の併用法による検討」
- 11:20-11:35 小林 和人 (福島県立医科大学・医学部・生体情報伝達研究所・生体機能研究部門)  
「GABA作動性介在ニューロンタイプによる大脳皮質—基底核回路機能の制御」
- 11:35-11:50 高田 昌彦 (京都大学・霊長類研究所・分子生理研究部門・統合脳システム分野)  
「行動の組織化に関わる大脳皮質—大脳基底核連関の統合的研究」
- 11:50-12:05 伊佐 正 (自然科学研究機構・生理学研究所・認知行動発達機構研究部門)  
「統合的研究手法による眼球・上肢運動制御における大脳運動関連領野の機能解明」
- 12:05-13:15 昼食
- 13:15-13:30 山田 勝也 (弘前大学・大学院医学研究科・統合機能生理学講座)  
「新規蛍光法による神経活動依存的グルコース供給の解析」
- 13:30-13:45 飯島 敏夫 (東北大学・大学院生命科学系研究科・生命機能科学専攻)  
「新開発の単離脳を用いた嗅覚中枢情報表現の研究」
- 13:45-14:00 山中 章弘 (自然科学研究機構・生理学研究所・細胞生理研究部門)  
「オレキシン神経活動制御による睡眠覚醒研究の新展開」
- 14:00-14:15 柳川 右千夫 (群馬大学・大学院医学系研究科・脳神経発達統御学講座)  
「興奮性ニューロンと抑制性ニューロンとを識別するトランスジェニック動物の開発」
- 14:15-14:30 岡部 繁男 (東京大学・大学院医学系研究科・神経細胞生物学分野)  
「PSDとスパインの構造・機能連関」
- 14:30-14:45 池谷 裕二 (東京大学・大学院薬学系研究科・薬品作用学教室)  
「海馬神経回路の活動パターンの形成と維持」

- 14:45-15:00 休憩
- 15:00-15:15 山田 麻紀 (東京大学・大学院医学系研究科・神経細胞生物学分野)  
「神経回路担当細胞の選択と安定化」
- 15:15-15:30 立花 政夫 (東京大学・大学院人文社会系研究科・心理学コース)  
「視覚系における情報のコーディングとデコーディング機構の解析」
- 15:30-15:45 崎村 建司 (新潟大学・脳研究所・基礎神経科学部門・細胞神経生物学分野)  
「脳機能解析に最適化した遺伝子改変マウス作成システムの構築」
- 15:45-16:00 篠原 美都 (京都大学・大学院医学研究科・遺伝医学講座・分子遺伝学教室)  
「精子幹細胞を用いた神経疾患モデルラット作成技術の開発」
- 16:00-16:15 重本 隆一 (自然科学研究機構・生理学研究所・脳形態解析研究部門)  
「シナプス可塑性の可視化による脳統合機能マッピング」
- 16:15-16:30 池中 一裕 (自然科学研究機構・生理学研究所・分子神経生理研究部門)  
「アストロサイトによるシナプス機能調節機構解明とその脳内局所異常が行動に及ぼす影響」
- 16:30-16:35 総評 丹治 順 代表

## 第2領域 「脳の高次機能システム」

発表：15分 討論：5分

09:00-09:05 挨拶 第2領域代表 木村 實

### セッション1 座長 福島 菊郎

- 09:05-09:25 A02 福山 秀直 (京都大学)  
「運動の開始と維持に関する脳内機構の解明」
- 09:25-09:45 A02 森 悦朗 (東北大学)  
「行動機序の脳内機構に関する行動神経学的研究」
- 09:45-10:05 A02 河村 満 (昭和大学)  
「ヒトの感情認知と感情生成の臨床神経心理学的研究」
- 10:05-10:25 A02 酒井 裕 (玉川大学)  
「情報源に依存したマッチング行動」
- 10:25-10:45 A02 中原 裕之 (理化学研究所)  
「神経細胞集団による情報処理と行動選択の計算論的研究」

### セッション2 座長 酒井 邦嘉

- 10:55-11:15 A05 鎌田 恭輔 (東京大学)  
「脳機能画像と皮質電位時間一周波数解析による言語・記憶機能検出と空間一時間変動分析」
- 11:15-11:35 A05 酒井 弘 (広島大学)  
「文産出時の統語構造構築に関わる脳機能の解明」
- 11:35-11:55 A05 遊佐 典昭 (宮城学院女子大学)  
「生成文法理論に言語の社会性をリンクさせた第二言語獲得研究」



11:55-12:15 A05 時本 真吾 (目白大学)  
「日本語の交差依存文が誘発するERP計測を通じたヒト固有の信号系列処理の検討」

セッション3 座長 金子 武嗣

13:30-13:50 A02 田中 真樹 (北海道大学)  
「空間的注意のトップダウン制御」  
13:50-14:10 A02 蔵田 潔 (弘前大学)  
「眼と手の協調運動における制御中枢間の相互調節」  
14:10-14:30 A02 虫明 元 (東北大学)  
「ゴール指向的なオブジェクト操作の神経機構」  
14:30-14:50 A02 関 和彦 (国立精神・神経センター)  
「随意運動の制御における脊髄介在ニューロンの役割」

14:50-15:00 休憩

15:00-15:20 A02 杉内 友理子 (東京医科歯科大学)  
「前頭眼野からの滑動性眼球運動発現の神経機構」  
15:20-15:40 A02 南部 篤 (生理学研究所)  
「淡蒼球による運動制御機構を解明する」  
15:40-16:00 A02 藤山 文乃 (京都大学)  
「線条体パッチ・マトリックスと入出力の解析」

セッション4 座長 渡辺 正孝

16:10-16:30 A03 中村 加枝 (関西医大)  
「ドパミン系とセロトニン系における報酬・コスト情報の統合」  
16:30-16:50 A03 山脇 成人 (広島大学)  
「衝動性と将来報酬予測機能における脳内セロトニンの役割」  
16:50-17:10 A03 井樋 慶一 (東北大学)  
「ストレス・情動応答の性差と青斑核—ノルアドレナリン神経ターゲティング法による検討」  
17:10-17:30 A03 尾仲 達史 (自治医科大学)  
「ストレス脆弱性の分子機構：PrRPニューロン仮説の検証」  
17:30-17:50 A03 松井 秀樹 (岡山大学)  
「脳内ホルモンによる不安情動・ストレス制御と母性の獲得」

17:50 総評 第2領域代表 木村 實

18:30-20:30 懇親会 (学士会館 320 号室)

**第3領域 「神経回路機能」**

一人あたり 15 分 (発表 10 分、討論 5 分、時間厳守)

09:00-09:05 挨拶 第3領域代表 狩野方伸

#### A01 神経回路の形成 (座長 仲村春和)

- 09:05-09:20 佐藤 純 (金沢大・フロンティアサイエンス機構)  
「ショウジョウバエ成虫脳の発生における同心円ゾーンと細胞移動による神経回路形成機構」
- 09:20-09:35 宮田 卓樹 (名古屋大・医学系研究科)  
「遠隔投射型大脳皮質ニューロンの発生と回路形成」
- 09:35-09:50 白尾 智明 (群馬大・医学系研究科)  
「新規蛋白スパイカーによるスパイン形成制御機構の解明」
- 09:50-10:05 五十嵐 道弘 (新潟大・医歯学総合研究科)  
「成長円錐のシナプス形成に關与する  $Ca^{2+}$  センサーの探索と機能解析」
- 10:05-10:20 山口 瞬 (神戸大・医学系研究科)  
「機能的神経回路の可視化」
- 10:20-10:35 休憩

#### A01 神経回路の形成、A02 神経回路の機能的成熟 (座長 渡辺雅彦)

- 10:35-10:50 松崎 政紀 (東京大・医学系研究科)  
「新規の光刺激法による非侵襲・生理的条件下における中枢神経シナプス長期可塑性の研究」
- 10:50-11:05 山本 亘彦 (大阪大・生命機能研究科)  
「大脳皮質における層構造特異的な神経回路形成の細胞分子機構」
- 11:05-11:20 畠 義郎 (鳥取大・医学系研究科)  
「視覚野神経回路の経験依存的形態変化」
- 11:20-11:35 安田 浩樹 (群馬大・医学系研究科)  
「内因性カンナビノイドによる発達期シナプス除去」
- 11:35-11:50 河崎 洋志 (科学技術新興機構／東京大・医)  
「フェレットを用いた高次視覚神経系の形成過程の分子メカニズム解析」
- 11:50-12:05 小島 正己 (産業技術総合研究所)  
「前駆体BDNFによる神経回路の形成と機能に対する負の制御とその生理的役割」
- 12:05-14:20 昼食・ポスター討論

#### A02 神経回路の機能的成熟 (座長 平井宏和)

- 14:20-14:35 真鍋 俊也 (東京大・医科学研究所)  
「シナプス伝達のメタ可塑性を制御する分子機構の解明」
- 14:35-14:50 持田 澄子 (東京医科大・医)  
「神経回路強化に關わるシナプス前終末カルシウムチャネルの機能解析」
- 14:50-15:05 加藤 総夫 (東京慈恵会医科大・総合医科学研究センター)  
「慢性痛による扁桃体中心核シナプス可塑性固定化機構の解明」
- 15:05-15:20 少作 隆子 (金沢大・保健学系)  
「ムスカリン性アセチルコリン受容体を介するシグナルの多様性および相互依存性の解析」
- 15:20-15:35 休憩

A03 神経回路の特異的機能発現 (座長 森 憲作)

15:35-15:50 渋木 克栄 (新潟大・脳研究所)  
「透明頭蓋マウス大脳皮質における高次感覚情報処理機構の研究」

15:50-16:05 大森 治紀 (京都大・医学研究科)  
「聴覚情報の特徴抽出と統合機構の解析」

16:05-16:20 小西 史朗 (徳島文理大・香川薬学部)  
「抑制性シナプスの長期増強を仲介する分子機構の解明」

16:20-16:35 井上 剛 (生理学研究所)  
「神経回路状態に依存したシナプス統合の多次元解析」

16:35-16:50 休憩

A03 神経回路の特異的機能発現 (座長 小田洋一)

16:50-17:05 齋藤 康彦 (群馬大・医学系研究科)  
「水平眼球運動系の速度—位置変換に関わる神経積分機構の解明」

17:05-17:20 喜多村 和郎 (東京大・医学系研究科)  
「覚醒行動マウスにおける大脳皮質錐体細胞のホールセル記録と2光子イメージング」

17:20-17:35 岡 良隆 (東京大・理学系研究科)  
「ペプチドニューロンによる神経回路機能修飾の分子・細胞メカニズム」

17:35-17:50 姜 英男 (大阪大・歯学研究科)  
「バレル野と味覚野における領野特異的機能発現に関する局所回路」

18:30～ 第3、第4領域合同懇親会 (学士会館 201 号室)

**第4領域 「分子脳科学」**

講演時間 (口演 15 分、討議 10 分、厳守)

09:00-09:05 挨拶 榊 正幸

セッション1 (座長 大隅 典子)

09:05-09:30 田賀 哲也 (熊本大学・発生医学研究センター)  
「胎生期中枢神経系構築における神経幹細胞運命決定機構の分子基盤解明に関する研究」

09:30-09:55 山口 正洋 (東京大学・大学院医学系研究科)  
「成体嗅球の新生神経細胞の生死決定時間を規定する分子機構の解析」

09:55-10:20 小椋 利彦 (東北大学・加齢医学研究所)  
「新規遺伝子の機能解析から探る脳構築」

10:20-10:40 休憩 (20 分)

セッション2 (座長 上村 匡)

10:40-11:05 星野 幹雄 (国立精神・神経センター・神経研究所)  
「変異マウスと電気穿孔法による神経細胞のサブタイプ決定と移動の分子機構の研究」

- 11:05-11:30 岡村 康司 (大阪大学・医学系研究科)  
「電位センサー蛋白の動作原理と生理機能」(班友)
- 11:30-11:55 山森 哲雄 (自然科学研究機構・基礎生物学研究所)  
「脳科学におけるプロテオミックス手法の開発と普及」(支援班)
- 11:55-13:30 昼食 (総括班会議)

### セッション3 (座長 野田 亮)

- 13:30-13:55 岡野 栄之 (慶應義塾大学・医学部)  
「神経分化と可塑性の転写後レベルにおける調節メカニズム」
- 13:55-14:20 稲垣 直之 (奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス研究科)  
「神経細胞が過剰な軸索の形成を抑制する分子機構の解析」
- 14:20-14:45 山下 俊英 (大阪大学・大学院医学系研究科)  
「神経細胞死と軸索再生のシグナルのクロストーク」
- 14:45-15:05 休憩 (20 分)

### セッション4 (座長 久保義弘)

- 15:05-15:30 加藤 裕教 (京都大学・大学院生命科学研究科)  
「神経軸索ガイダンス分子、セマフォリンの機能の研究」
- 15:30-15:55 木下 専 (名古屋大学・大学院理学研究科)  
「プルキンエ細胞およびバグマングリア特異的Sept 7欠損マウスの解析」
- 15:55-16:20 久保 義弘 (自然科学研究機構・生理学研究所)  
「単一分子イメージングによるイオンチャネル複合体のストイキオメトリーの決定」  
(班友)
- 16:20-16:40 休憩 (20 分)

### セッション5 (座長 野田 昌晴)

- 16:40-17:05 高橋 正身 (北里大学・医学部)  
「脳の機能におけるシナプスタンパク質SNAP-25のリン酸化の役割」(班友)
- 17:05-17:30 宮川 剛 (藤田保健衛生大学・総合医科学研究所)  
「大規模データ解析による遺伝子改変マウスの行動テストバッテリーの標準化・効率化」  
(支援班)
- 18:30-20:30 第3、第4領域合同懇親会 (学士会館 201 号室)

## 第5領域 「病態脳」

口演は、一人あたり 10 分 (発表 8 分、討論 2 分、時間厳守)

09:00-09:05 挨拶 第5領域代表 貫名信行

### ■A01 アルツハイマー病、パーキンソン病 (前半)

口頭発表 (座長 岩坪 威/柳澤勝彦)

09:05-09:15 5-01 (計画) 井原康夫 (同志社大学・生命医科学部)  
「 $\gamma$ セクレターゼの酵素学的性質の解明」

09:15-09:25	5-02	(計画) 柳澤勝彦 (国立長寿医療センター・研究所) 「Seed 仮説に基づくアルツハイマー病の病態解明ならびに治療薬開発」
09:25-09:35	5-03	(計画) 田平 武 (順天堂大学・大学院) 「アルツハイマー病の免疫機序の解析と新しい治療法の開発」
09:35-09:45	5-04	(公募) 鈴木利治 (北海道大学・大学院薬学研究院) 「アルカデイン代謝産物を利用したAD生化学的診断法の開発」
09:45-09:55	5-05	(公募) 森島真帆 (北海道大学・大学院薬学研究院) 「タウのコンフォメーション変化のタウオパチーにおける意義と抑制法開発」
09:55-10:05	5-06	(公募) 富田泰輔 (東京大学・大学院薬学系研究科) 「創薬標的分子としての新規 $\gamma$ セクレターゼ活性制御因子群の解析」
10:05-10:15	5-07	(公募) 橋本康弘 (福島県立医科大学・医学部) 「ベータ・セクレターゼ活性をモニターするためのバイオマーカーの検索」
10:15-10:25	5-08	(公募) 富山貴美 (大阪市立大学・大学院医学研究科) 「A $\beta$ オリゴマー仮説を検証する新しいアルツハイマー病モデルマウスの作製」
10:25-10:35	5-09	(公募) 森 啓 (大阪市立大学・大学院医学研究科) 「アルツハイマー病脳アミロイドイメージングの分子論的解明」
10:35-10:45	5-10	(公募) 岩田修永 (独立行政法人理化学研究所・BSI) 「ネプリライシンの活性低下による病理形成機構と活性制御機構の解析」
10:45-10:55	休憩	
	■A01 アルツハイマー病、パーキンソン病 (後半)	
	口頭発表 (座長 柳澤勝彦/岩坪 威)	
10:55-11:05	5-11	(公募) 高島明彦 (独立行政法人理化学研究所・BSI) 「神経原線維変化形成機構」
11:05-11:15	5-12	(公募) 樋口真人 (放射線医学総合研究所・MIC) 「アミロイドカスケードのキーププロセス可視化によるアルツハイマー病の診断・治療法開発」
11:15-11:25	5-13	(公募) 村山繁雄 (東京都老人総合研究所) 「高齢者タウオパチーの臨床分子病理学的研究—嗜銀顆粒性認知症」
11:25-11:35	5-14	(公募) 道川 誠 (国立長寿医療センター・研究所) 「アルツハイマー病発症機構における HDL 産生・供給機構の解明と治療への応用」
11:35-11:45	5-15	(公募) 横田隆徳 (東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科) 「内因性ベクターを用いた中枢神経系への新規 siRNA デリバリー方法の開発」
11:45-11:55	5-16	(公募) 山口芳樹 (独立行政法人理化学研究所・ASI) 「NMR 構造生物学に基づいた薬物相互作用の解析と神経変性疾患への治療応用」
11:55-13:30	昼食	
13:30-13:40	5-20	(公募) 高橋良輔 (京都大学・大学院医学研究科) 「パエル受容体のドーパミンニューロンの機能維持と変性における役割の解明」
13:40-13:50	5-18	(計画) 服部信孝 (順天堂大学・医学部) 「パーキンソン病における神経細胞死の機序解明とその防御」
13:50-14:00	5-19	(公募) 有賀寛芳 (北海道大学・大学院薬学研究院) 「パーキンソン病 PARK7 の原因遺伝子 DJ-1 の機能解析」
14:00-14:10	5-17	(計画) 岩坪 威 (東京大学・大学院医学系研究科) 「パーキンソン病発症の分子機構に関する研究」
14:10-14:20	休憩	

■A02 ポリグルタミン病など

口頭発表（座長 三浦正幸／祖父江元）

- 14:20-14:30 5-21 (計画) 三浦正幸 (東京大学・大学院薬学系研究科)  
「神経変性シグナルの遺伝学的解析による疾患治療ターゲットの解明」
- 14:30-14:40 5-22 (計画) 祖父江元 (名古屋大学・大学院医学系研究科)  
「ポリグルタミン病の病態解明とそれに基づく治療法の開発」
- 14:40-14:50 5-23 (計画) 貫名信行 (独立行政法人理化学研究所・BSI)  
「神経変性における蛋白凝集機構の解析」
- 14:50-15:00 5-24 (公募) 郭 伸 (東京大学・大学院医学系研究科)  
「孤発性 ALS におけるグルタミン酸受容体 RNA 編集異常の病因的意義の検討」
- 15:00-15:10 5-25 (公募) 岡澤 均 (東京医科歯科大学・難治疾患研究所)  
「ポリグルタミン病態における核ストレスの解析と治療応用」
- 15:10-15:20 5-26 (公募) 西澤正豊 (新潟大学・脳研究所)  
「劣性遺伝性脊髄小脳変性症の分子病態の解明」
- 15:20-15:30 5-27 (公募) 久保田広志 (秋田大学・工学資源学部)  
「ポリグルタミン凝集のダイナミクスと分子シャペロンによる毒性阻止」
- 15:30-15:40 5-29 (公募) 永井義隆 (国立精神・神経センター・神経研究所)  
「ポリグルタミン病における可逆性神経機能障害の分子メカニズムの解明」
- 15:40-15:50 5-29 (公募) 小松雅明 (東京都臨床医学総合研究所)  
「凝集体形成分子 p62 による神経変性疾患封入体形成機構」
- 15:50-16:00 5-30 (公募) 山中宏二 (独立行政法人理化学研究所・BSI)  
「神経炎症の制御を標的とした筋萎縮性側索硬化症の治療法の開発」
- 16:00-16:10 5-31 (公募) 長谷川成人 (東京都精神医学総合研究所)  
「神経変性疾患における異常蛋白質蓄積機構の解明」
- 17:30-20:30 懇親会（於：学士会館 302 室）

12月19日(土) 第2領域～第5領域 班会議

第1領域 「統合脳」

午前 第2～5領域 班会議に参加

13:30-16:30 ポスターコアタイム

第2領域 「脳の高次機能システム」

発表：15分 討論：5分

09:00-09:05 挨拶 第2領域代表 木村 實

セッション5 座長 田中 啓治

- 09:05-09:25 A01 佐藤 宏道 (大阪大学)  
「初期視覚系における広域視野情報の統合的処理のメカニズムと認知的意義」
- 09:25-09:45 A01 大澤 五住 (大阪大学)  
「逆相関法および相互相関法による高次視覚機構の研究」
- 09:45-10:05 A01 宇賀 貴紀 (順天堂大学)  
「運動方向弁別における注意の空間解像度の神経メカニズム」
- 10:05-10:25 A01 程 康 (理化学研究所)  
「高磁場 fMRI によるMT分野のコラム構造に関する研究」

セッション6 座長 合原 一幸

- 10:35-10:55 A01 王 鋼 (鹿児島大学)  
「下側頭葉皮質における物体特徴の表現及び観察角度に依存しない物体認識への関わり」
- 10:55-11:15 A01 村上 郁也 (東京大学)  
「眼球運動時における輝度および色変調運動刺激の運動視知覚に関する認知神経科学的研究」
- 11:15-11:35 A01 石塚 典生 (東京都医学研究機構)  
「海馬歯状回の縦走性軸索投射様式と終末微細構造の解析」
- 11:35-11:55 A01 篠本 滋 (京都大学)  
「空間認知および時間認知の神経回路モデルの構築」

セッション7 座長 坂上 雅道

- 12:05-12:25 A04 船橋 新太郎 (京都大学)  
「メタ記憶に関わる前頭連合野神経機構の解析」
- 12:25-12:45 A04 入来 篤史 (理化学研究所)  
「知的脳機能を司るヒト特有の非論理的認知バイアスの進化神経生物学的基盤」
- 12:45-13:05 A04 坂井 克之 (東京大学)  
「視知覚と選択的注意における脳領域間信号伝達の方向性の解明」

13:05 総評 第2領域代表 木村 實

13:30-16:30 ポスターコアタイム

### 第3領域 「神経回路機能」

一人あたり 15分（発表 10分、討論 5分、時間厳守）

08:55-09:00 事務連絡

#### A02 神経回路の機能的成熟（座長 岩里琢治）

- 09:00-09:15 中尾 光之 （東北大・情報科学研究科）  
「樹状突起活動電位の生理学的役割に関する研究」
- 09:15-09:30 関野 祐子 （東京大・医科学研究所）  
「海馬シナプス伝達抑制機構の光学的測定法を用いた解析」
- 09:30-09:45 佐藤 勝重 （駒澤女子大・人間健康学部）  
「脳幹神経回路網の機能形成過程と脱分極波による制御機構の光学的解析」
- 09:45-10:00 小松 由紀夫 （名古屋大・環境医学研究所）  
「大脳皮質視覚野における長期増強の経験依存的機能発達に果たす役割」
- 10:00-10:15 宮田 麻理子 （東京女子医科大・医）  
「幻痛における視床シナプスのリモデリングとその臨界期」
- 10:15-10:30 休憩

#### A03 神経回路の特異的機能発現（座長 小坂俊夫）

- 10:30-10:45 匂坂 敏朗 （神戸大・医学系研究科）  
「シグナルソームによる神経軸索の伸長機構」
- 10:45-11:00 古江 秀昌 （九州大・医学研究院）  
「In vivo 脊髄抑制性シナプス入力 of 生理的役割とその可塑的变化の解析」
- 11:00-11:15 児島 将康 （久留米大・分子生命科学研究所）  
「視床下部摂食調節の神経回路解析」
- 11:15-11:30 窪田 芳之 （生理学研究所）  
「大脳皮質局所神経回路の要素の形態特性とダイナミクス解析」
- 11:30-11:45 一戸 紀孝 （理化学研究所・脳科学総合研究センター）  
「新しく開発した生体内線維結合イメージングーカラムレベルの物体認知情報変換の研究」
- 11:45-12:00 岡本 仁 （理化学研究所・脳科学総合研究センター）  
「トランスジェニック技術を使ったゼブラフィッシュ神経回路網の機能解析」
- 12:00-12:10 まとめ 第3領域代表 狩野方伸
- 12:10-13:30 昼食（総括班・計画班員会議） …場所： 貴賓室
- 13:30~16:30 ポスターコアタイム



## 第4領域 「分子脳科学」

### セッション6 (座長 饗場 篤)

- 09:00-09:25 杉本 幸彦 (熊本大学・大学院医学薬学研究部)  
「プロスタノイドによる中枢シナプスネットワーク調節」
- 09:25-09:50 伊藤 誠二 (関西医科大学・医学部)  
「神経可塑性に伴うNMDA受容体複合体の再編成と活性化に關与する機能分子の探索」
- 09:50-10:15 崎村 建司 (新潟大学・脳研究所)  
「C57BL/6由来ES細胞を用いたコンディショナルノックアウトマウス作成支援事業」  
(支援班)
- 10:15-10:30 休憩 (15分)

### セッション7 (座長 八木 健)

- 10:30-10:55 森 望 (長崎大学・大学院医歯薬学総合研究科)  
「ホスホチロシンシグナルアダプターからみる海馬神経シナプス可塑性制御の分子基盤」
- 10:55-11:20 鍋島 陽一 (京都大学・大学院医学研究科)  
「小脳顆粒細胞特異的遺伝子機能改変マウスを用いた小脳機能制御システムの研究」
- 11:20-11:30 総合討議とまとめ 領域代表 三品昌美
- 11:30-13:00 昼食 (計画班会議)
- 13:30-16:30 ポスターコアタイム

## 第5領域 「病態脳」

口演は、一人あたり10分(発表8分、討論2分、時間厳守)

### ■A03 機能性精神疾患

口頭発表(座長 西川 徹/加藤忠史)

- 09:00-09:10 5-32 (計画) 西川 徹 (東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科)  
「統合失調症の分子病態の解明」
- 09:10-09:20 5-33 (計画) 加藤忠史 (独立行政法人理化学研究所・BSI)  
「双極性障害における小胞体ストレス反応系の意義についての研究」
- 09:20-09:30 5-34 (公募) 福島順子 (北海道大学・医学部)  
「広汎性発達障害の視線解析と機能画像による病態の研究」
- 09:30-09:40 5-35 (公募) 富田博秋 (東北大学・大学院医学系研究科)  
「精神疾患脳バンク構築のための基礎研究」
- 09:40-09:50 5-36 (公募) 有波忠雄 (筑波大学・大学院人間総合科学研究科)  
「遺伝学的根拠に基づく統合失調症のエピジェネティックな病態に關与する鍵分子の解明」
- 09:50-10:00 5-37 (公募) 笠井清登 (東京大学・医学部附属病院)  
「遺伝子・生化学マーカー・神経画像解析を組み合わせた統合失調症の進行性脳病態の解明」

10:00-10:10	5-38	(公募) 清野 泰 (福井大学・高エネルギー医学研究センター) 「機能性精神疾患の病態解明を目的とするノルアドレナリン神経機能イメージング法の開発」
10:10-10:20	5-39	(公募) 尾崎紀夫 (名古屋大学・大学院医学系研究科) 「14-3-3 $\epsilon$ を標的とした統合失調症と気分障害の分子病態解明」
10:20-10:30	5-40	(公募) 宮川 剛 (藤田保健衛生大学・総合医科学研究所) 「統合失調症のカルシニューリン仮説に基づいた統合失調症発症メカニズムの解明」
10:30-10:40	休憩	
10:40-10:50	5-41	(公募) 橋本亮太 (大阪大学・大学院医学系研究科) 「統合失調症脆弱性遺伝子ディスバインジンの遺伝子改変動物を用いた分子病態解析」
10:50-11:00	5-42	(公募) 森信 繁 (広島大学・大学院医歯薬学総合研究科) 「エピジェネティクスと大脳白質微細構造によるうつ病発症・難治化の機序解明」
11:00-11:10	5-43	(公募) 植田弘師 (長崎大学・大学院医歯薬学総合研究科) 「ストレス性精神疾患の可視化とナノメディシン」
11:10-11:20	5-44	(公募) 松本直通 (横浜市立大学・大学院医学研究科) 「ゲノムブロック異常と精神神経疾患発症素因の解明」
11:20-11:30	5-45	(公募) 河田光博 (京都府立医科大学・大学院医学部医学科) 「臨界期ストレスの成体ホルモン応答に対する分子・構造・行動解析」
11:30-11:40	5-46	(公募) 糸川昌成 (東京都精神医学総合研究所) 「大きな遺伝子効果を利用した統合失調症の病因研究」
11:40-11:50	まとめ	第5領域代表 貫名信行

11:50-13:30 昼食

■ポスターコアタイム

13:30-15:00 奇数番号

15:00-16:30 偶数番号

第1～5領域 ポスターコアタイム

12月19日(土)

13:30～16:30

12月19日(土)午後

第1領域～第5領域ポスターコアタイム

第1領域

「統合脳」

- 1-01 福土 審 (東北大学・大学院医学系研究科・行動医学分野)  
「内臓感覚を形成する脳機能モジュール」
- 1-02 澤村 裕正 (東京大学・医学部附属病院・眼科)  
「狂犬病ウイルスを用いた大脳視覚野背側腹側経路の機能連関の解剖学的解明に関する研究」
- 1-03 高橋 宏知 (東京大学・先端科学技術研究センター・生命知能システム分野)  
「音の認知・認識における聴皮質の役割」
- 1-04 伊澤 佳子 (東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・システム神経生理学)  
「サッケード発現・抑制に関するサル上丘吻尾方向の機能分化と前頭眼野抑制野との神経回路」
- 1-05 宮地 重弘 (京都大学・霊長類研究所・行動神経研究部門・高次脳機能分野)  
「前頭前野―側頭連合野―海馬連関による記憶メカニズムの神経生理・解剖学的研究」
- 1-06 美馬 達哉 (京都大学・大学院医学研究科・附属高次脳機能総合研究センター)  
「金銭的報酬課題によるヒト脳可塑性の変化―fMRIと磁気刺激の併用法による検討」
- 1-07 小林 和人 (福島県立医科大学・医学部・生体情報伝達研究所・生体機能研究部門)  
「GABA作動性介在ニューロンタイプによる大脳皮質―基底核回路機能の制御」
- 1-08 高田 昌彦 (京都大学・霊長類研究所・分子生理研究部門・統合脳システム分野)  
「行動の組織化に関わる大脳皮質―大脳基底核連関の統合的研究」
- 1-09 伊佐 正 (自然科学研究機構・生理学研究所・認知行動発達機構研究部門)  
「統合的研究手法による眼球・上肢運動制御における大脳運動関連領野の機能解明」
- 1-10 山田 勝也 (弘前大学・大学院医学研究科・統合機能生理学講座)  
「新規蛍光法による神経活動依存的グルコース供給の解析」
- 1-11 飯島 敏夫 (東北大学・大学院生命科学系研究科・生命機能科学専攻)  
「新開発の単離脳を用いた嗅覚中枢情報表現の研究」
- 1-12 山中 章弘 (自然科学研究機構・生理学研究所・細胞生理研究部門)  
「オレキシン神経活動制御による睡眠覚醒研究の新展開」
- 1-13 柳川 右千夫 (群馬大学・大学院医学系研究科・脳神経発達統御学講座)  
「興奮性ニューロンと抑制性ニューロンとを識別するトランスジェニック動物の開発」
- 1-14 岡部 繁男 (東京大学・大学院医学系研究科・神経細胞生物学分野)  
「PSDとスパインの構造・機能連関」
- 1-15 池谷 裕二 (東京大学・大学院薬学系研究科・薬品作用学教室)  
「海馬神経回路の活動パターンの形成と維持」
- 1-16 山田 麻紀 (東京大学・大学院医学系研究科・神経細胞生物学分野)  
「神経回路担当細胞の選択と安定化」
- 1-17 立花 政夫 (東京大学・大学院人文社会系研究科・心理学コース)  
「視覚系における情報のコーディングとデコーディング機構の解析」
- 1-18 崎村 建司 (新潟大学・脳研究所・基礎神経科学部門・細胞神経生物学分野)  
「脳機能解析に最適化した遺伝子改変マウス作成システムの構築」
- 1-19 篠原 美都 (京都大学・大学院医学研究科・遺伝医学講座・分子遺伝学教室)  
「精子幹細胞を用いた神経疾患モデルラット作成技術の開発」
- 1-20 重本 隆一 (自然科学研究機構・生理学研究所・脳形態解析研究部門)  
「シナプス可塑性の可視化による脳統合機能マッピング」
- 1-21 池中 一裕 (自然科学研究機構・生理学研究所・分子神経生理)  
「アストロサイトによるシナプス機能調節機構解明とその脳内局所異常が行動に及ぼす影響」

- 1-22 杉原 泉 (東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・認知行動医学系)  
「マーモセット小脳のコンパートメント構築」
- 1-23 塚元 葉子 (玉川大学・脳科学研究所)  
「インターニューロンネットワークが生み出すオシレーション活動の生成メカニズム」
- 1-24 橋本 浩一 (東京大学・大学院医学系研究科・神経生理学分野)  
「生後発達に伴う登上線維投射領域の変化」
- 1-25 斎藤 実 (東京都医学研究機構・東京都神経科学総合研究所・神経機能分子治療部門)  
「ピルビン酸カルボキシラーゼによるショウジョウバエ加齢性記憶障害の制御」

## 第2領域 「脳の高次機能システム」

### A01

- 2-01 佐藤 宏道 (大阪大学)  
「初期視覚系における広域視野情報の統合的処理のメカニズムと認知的意義」
- 2-02 大澤 五住 (大阪大学)  
「逆相関法および相互相関法による高次視覚機構の研究」
- 2-03 宇賀 貴紀 (順天堂大学)  
「運動方向弁別における注意の空間解像度の神経メカニズム」
- 2-04 程 康 (理化学研究所)  
「高磁場 fMRI によるMT分野のコラム構造に関する研究」
- 2-05 王 鋼 (鹿児島大学)  
「下側頭葉皮質における物体特徴の表現及び観察角度に依存しない物体認識への関わり」
- 2-06 村上 郁也 (東京大学)  
「眼球運動時における輝度および色変調運動刺激の運動視知覚に関する認知神経科学的研究」
- 2-07 石塚 典生 (東京都医学研究機構)  
「海馬歯状回の縦走性軸索投射様式と終末微細構造の解析」
- 2-08 篠本 滋 (京都大学)  
「空間認知および時間認知の神経回路モデルの構築」

### A02

- 2-09 酒井 裕 (玉川大学)  
「情報源に依存したマッチング行動」
- 2-10 中原 裕之 (理化学研究所)  
「神経細胞集団による情報処理と行動選択の計算論的研究」
- 2-11 森 悦朗 (東北大学)  
「行動機制の脳内機構に関する行動神経学的研究」
- 2-12 河村 満 (昭和大学)  
「ヒトの感情認知と感情生成の臨床神経心理学的研究」
- 2-13 福山 秀直 (京都大学)  
「運動の開始と維持に関する脳内機構の解明」
- 2-14 田中 真樹 (北海道大学)  
「空間的注意のトップダウン制御」
- 2-15 蔵田 潔 (弘前大学)  
「眼と手の協調運動における制御中枢間の相互調節」
- 2-16 虫明 元 (東北大学)  
「ゴール指向的なオブジェクト操作の神経機構」

- 2-17 関 和彦 (国立精神・神経センター)  
「随意運動の制御における脊髄介在ニューロンの役割」
- 2-18 杉内 友理子 (東京医科歯科大学)  
「前頭眼野からの滑動性眼球運動発現の神経機構」
- 2-19 南部 篤 (生理学研究所)  
「淡蒼球による運動制御機構を解明する」
- 2-20 藤山 文乃 (京都大学)  
「線条体パッチ・マトリックスと入出力の解析」

### A03

- 2-21 中村 加枝 (関西医大)  
「ドパミン系とセロトニン系における報酬・コスト情報の統合」
- 2-22 山脇 成人 (広島大学)  
「衝動性と将来報酬予測機能における脳内セロトニンの役割」
- 2-23 井樋 慶一 (東北大学)  
「ストレス・情動応答の性差と青斑核－ノルアドレナリン神経ターゲティング法による検討」
- 2-24 尾仲 達史 (自治医科大学)  
「ストレス脆弱性の分子機構：P r R Pニューロン仮説の検証」
- 2-25 松井 秀樹 (岡山大学)  
「脳内ホルモンによる不安情動・ストレス制御と母性の獲得」

### A04

- 2-26 船橋 新太郎 (京都大学)  
「メタ記憶に関わる前頭連合野神経機構の解析」
- 2-27 入来 篤史 (理化学研究所)  
「知的脳機能を司るヒト特有の非論理的認知バイアスの進化神経生物学的基盤」
- 2-28 坂井 克之 (東京大学)  
「視知覚と選択的注意における脳領域間信号伝達の方向性の解明」

### A05

- 2-29 鎌田 恭輔 (東京大学)  
「脳機能画像と皮質電位時間一周波数解析による言語・記憶機能検出と空間－時間変動分析」
- 2-30 酒井 弘 (広島大学)  
「文産出時の統語構造構築に関わる脳機能の解明」
- 2-31 遊佐 典昭 (宮城学院女子大学)  
「生成文法理論に言語の社会性をリンクさせた第二言語獲得研究」
- 2-32 時本 真吾 (目白大学)  
「日本語の交差依存文が誘発するERP計測を通じたヒト固有の信号系列処理の検討」

## 第3領域 「神経回路機能」

### A01 神経回路の形成

- 3-01 仲村 春和 (東北大・生命科学研究科)  
「中脳視蓋の層形成と回路形成機構の解析」
- 3-02 尾藤 晴彦 (東京大・医学系研究科)  
「シナプスの機能的・形態的リモデリング機構の探索」

- 3-03 五十嵐 道弘 (新潟大・医歯学総合研究科)  
「成長円錐のシナプス形成に關与する  $Ca^{2+}$  センサーの探索と機能解析」
- 3-04 村上 富士夫 (大阪大・生命機能研究科)  
「脳の構築と神経回路形成における細胞移動の役割」
- 3-05 白尾 智明 (群馬大・医学系研究科)  
「新規蛋白スパイカーによるスパイン形成制御機構の解明」
- 3-06 佐藤 純 (金沢大・フロンティアサイエンス機構)  
「ショウジョウバエ成虫脳の発生における同心円ゾーンと細胞移動による神経回路形成機構」
- 3-07 佐藤 勝重 (東京医科歯科大・医歯学総合研究科)  
「脳幹神経回路網の機能形成過程と脱分極波による制御機構の光学的解析」
- 3-08 宮田 卓樹 (名古屋大・医学系研究科)  
「遠隔投射型大脳皮質ニューロンの発生と回路形成」
- 3-09 山本 亘彦 (大阪大・生命機能研究科)  
「大脳皮質における層構造特異的な神経回路形成の細胞分子機構」
- 3-10 匂坂 敏朗 (神戸大・医学系研究科)  
「シグナルソームによる神経軸索の伸長機構」
- 3-11 田中 英明 (熊本大・医学薬学研究部)  
「マウス大脳の神経回路形成における  $D r a x i n$  の役割」

#### A02 神経回路の機能的成熟

- 3-12 渡辺 雅彦 (北海道大・医学研究科)  
「競合的シナプス回路成熟の構造基盤と分子基盤」
- 3-13 真鍋 俊也 (東京大・医科学研究所)  
「シナプス伝達のメタ可塑性を制御する分子機構の解明」
- 3-14 狩野 方伸 (東京大・医学系研究科)  
「発達期小脳における神経活動依存的なシナプス機能成熟」
- 3-15 畠 義郎 (鳥取大・医学系研究科)  
「視覚野神経回路の経験依存的形態変化」
- 3-16 中尾 光之 (東北大・情報科学研究科)  
「樹状突起活動電位の生理学的役割に関する研究」
- 3-17 安田 浩樹 (群馬大・医学系研究科)  
「内因性カンナビノイドによる発達期シナプス除去」
- 3-18 平井 宏和 (群馬大・医学系研究科)  
「デルタ2グルタミン酸受容体のNTDを介する新しい活性化様式の解明」
- 3-19 河崎 洋志 (科学技術振興機構/東京大学・医)  
「フェレットを用いた高次視覚神経系の形成過程の分子メカニズム解析」
- 3-20 関野 祐子 (東京大・医科学研究所)  
「海馬シナプス伝達抑制機構の光学的測定法を用いた解析」
- 3-21 松崎 政紀 (東京大・医学系研究科)  
「新規の光刺激法による非侵襲・生理的条件下における中枢神経シナプス長期可塑性の研究」
- 3-22 少作 隆子 (金沢大・保健学系)  
「ムスカリン性アセチルコリン受容体を介するシグナルの多様性および相互依存性の解析」
- 3-23 福田 敦夫 (浜松医科大・医学部)  
「インビボ胎仔大脳皮質におけるクロライドトランスポーターKCC2の翻訳後修飾」
- 3-24 小松 由紀夫 (名古屋大・環境医学研究所)  
「大脳皮質視覚野における長期増強の経験依存的機能発達に果たす役割」

- 3-25 持田 澄子 (東京医科大・医)  
「神経回路強化に関わるシナプス前終末カルシウムチャネルの機能解析」
- 3-26 加藤 総夫 (東京慈恵会医科大・総合医科学研究センター)  
「慢性痛による扁桃体中心核シナプス可塑性固定化機構の解明」
- 3-27 宮田 麻理子 (東京女子医科大・医)  
「幻痛における視床シナプスのリモデリングとその臨界期」
- 3-28 岩里 琢治 (理化学研究所・脳科学総合研究センター)  
「遺伝子変異マウスを用いた体性感覚系神経回路発達の研究」
- 3-29 小島 正己 (産業技術総合研究所)  
「前駆体BDNFによる神経回路の形成と機能に対する負の制御とその生理的役割」

### A03 神経回路の特異的機能発現

- 3-30 森 憲作 (東京大・医学系研究科)  
「大脳嗅皮質のにおい地図と嗅覚機能の発現」
- 3-31 澁木 克栄 (新潟大・脳研究所)  
「透明頭蓋マウス大脳皮質における高次感覚情報処理機構の研究」
- 3-32 小田 洋一 (名古屋大・理学研究科)  
「後脳の分節構造にもとづいて構築された機能回路」
- 3-33 大森 治紀 (京都大・医学研究科)  
「聴覚情報の特徴抽出と統合機構の解析」
- 3-34 齋藤 康彦 (群馬大・医学系研究科)  
「水平眼球運動系の速度—位置変換に関わる神経積分機構の解明」
- 3-35 岡 良隆 (東京大・理学系研究科)  
「ペプチドニューロンによる神経回路機能修飾の分子・細胞メカニズム」
- 3-36 喜多村 和郎 (東京大・医学系研究科)  
「覚醒行動マウスにおける大脳皮質錐体細胞のホールセル記録と2光子イメージング」
- 3-37 姜 英男 (大阪大・歯学研究科)  
「バレル野と味覚野における領野特異的機能発現に関与する局所回路」
- 3-38 山口 瞬 (神戸大・医学系研究科)  
「機能的神経回路の可視化」
- 3-39 小坂 俊夫 (九州大・医学研究院)  
「嗅覚一次中枢嗅球における情報処理の構造的基盤解明」
- 3-40 古江 秀昌 (九州大・医学研究院)  
「In vivo 脊髄抑制性シナプス入力 of 生理的役割とその可塑的变化の解析」
- 3-41 小西 史朗 (徳島文理大・香川薬学部)  
「抑制性シナプスの長期増強を仲介する分子機構の解明」
- 3-42 児島 将康 (久留米大・分子生命科学研究所)  
「視床下部摂食調節の神経回路解析」
- 3-43 窪田 芳之 (生理学研究所)  
「大脳皮質局所神経回路の要素の形態特性とダイナミクス解析」
- 3-44 井上 剛 (生理学研究所)  
「神経回路状態に依存したシナプス統合の多次元解析」
- 3-45 一戸 紀孝 (理化学研究所・脳科学総合研究センター)  
「新しく開発した生体内線維結合イメージング—カラムレベルの物体認知情報変換の研究」
- 3-46 岡本 仁 (理化学研究所・脳科学総合研究センター)  
「トランスジェニック技術を使ったゼブラフィッシュ神経回路網の機能解析」



- 3-47 神谷 温之 (北海道大・医学研究科)  
「海馬顆粒細胞におけるシナプス前クロライド濃度の制御機構」
- 3-48 桜井 正樹 (帝京大・医学部)  
「皮質脊髄路シナプス除去におけるシナプス後部 GluN2B—NMDA 受容体の特異的関与」
- 3-49 木村 文隆 (大阪大・医学系研究科)  
「Feedforward 抑制による発火タイミング制御の発達とそれに伴う STDP の変化」
- 3-50 田川 義晃 (京都大・理学研究科)  
「生後の自発的神経活動に依存した大脳皮質回路構築」
- 3-51 杉森 道也 (富山大・医学薬学研究部)  
「高頻度刺激の海馬歯状回神経新生への影響」

#### 第4領域 「分子脳科学」

責任発表時間 13:30-14:30 奇数演題番号  
14:30-15:30 偶数演題番号  
15:30-16:30 討論時間

- 4-01 A03 三品 昌美 (東京大学・大学院医学系研究科)  
「純系ゲノム背景における脳システム制御の分子解析」
- 4-02 A01 榭 正幸 (筑波大学・大学院人間総合科学研究科)  
「神経回路形成の動態を制御する新規細胞間シグナルの解析」
- 4-03 A01 大隅典子 (東北大学・大学院医学系研究科)  
「脳の発生発達過程における神経幹細胞の増殖と分化を制御する分子メカニズムの解明」
- 4-04 A01 上村 匡 (京都大学・大学院生命科学研究科)  
「樹状突起のパターン形成：分岐の複雑度や受容野のサイズを調節・維持する分子機構」
- 4-05 A01 野田 亮 (京都大学・大学院医学研究科)  
「神経細胞の運命決定および動態制御における細胞外マトリックス・リモデリングの役割」
- 4-06 A01 岡野栄之 (慶應大学・医学部)  
「神経分化と可塑性の転写後レベルにおける調節メカニズム」
- 4-07 A02 山森 哲雄 (自然科学研究機構・基礎生物学研究所)  
「大脳皮質領野の形成と機能に関わる分子の探索と機能解析」
- 4-08 A02 貝淵 弘三 (名古屋大学・大学院医学系研究科)  
「神経細胞の極性形成機構の解明」
- 4-09 A02 森 郁恵 (名古屋大学・大学院理学研究科)  
「線虫 *C. elegans* の感覚行動から探る高次神経機能の分子機構」
- 4-10 A02 影山 龍一郎 (京都大学・ウイルス研究所)  
「2時間を刻む生物時計による神経分化制御」
- 4-11 A02 野田 昌晴 (自然科学研究機構・基礎生物学研究所)  
「体液塩濃度恒常性制御の脳内機構」
- 4-12 A03 八木 健 (大阪大学・大学院生命機能研究科)  
「CNR／プロトカドヘリン分子群を用いた脳システム形成と制御の解析」
- 4-13 A03 饗場 篤 (神戸大学・大学院医学研究科)  
「時空間特異的遺伝子発現マウスを用いた脳のシステム制御の解析」
- 4-14 A01 守屋 孝洋 (東北大学・大学院薬学研究科)  
「ニューロン新生を調節するプロスタグランジン 2 の新規標的タンパク質の解析」

- 4-15 A01 千原 崇裕 (東京大学・大学院薬学系研究科)  
「脳内における樹状突起ガイダンスの分子機構」
- 4-16 A01 平林 祐介 (東京大学・分子細胞生物学研究所)  
「大脳皮質神経系前駆細胞の発生時期依存的なニューロンタイプの転換機構」
- 4-17 A01 田中 光一 (東京医科歯科大学・大学院疾患生命科学研究部)  
「大脳皮質神経系前駆細胞の発生時期依存的なニューロンタイプの転換機構」
- 4-18 A01 平野 丈夫 (京都大学・大学院理学研究科)  
「グルタミン酸受容体デルタ2によるシナプス形成誘導」
- 4-19 A01 石橋 誠 (京都大学・大学院医学研究科)  
「モルフォゲンの濃度勾配ロバストネス保証および分化運命決定における閾値の分子機構」
- 4-20 A01 中島 欽一 (奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス研究科)  
「発生段階依存的な神経幹細胞の性質変換を誘導する分子メカニズムの解明」
- 4-21 A01 高橋 淑子 (奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス研究科)  
「神経系の成り立ちにおける細胞の移動と上皮化」
- 4-22 A01 白根 道子 (九州大学・生体防御医学研究所)  
「神経分化と機能制御における膜輸送の役割」
- 4-23 A01 太田 訓正 (熊本大学・大学院医学薬学研究部)  
「T s u k u s h i による神経幹細胞の未分化性維持機構」
- 4-24 A01 澤本 和延 (名古屋市立大学・大学院医学研究科)  
「成体マウス・小型魚類脳における新生神経細胞移動の分子機構」
- 4-25 A01 仲嶋 一範 (慶應義塾大学・医学部)  
「大脳皮質神経細胞の配置制御」
- 4-26 A01 榎本 和生 (国立遺伝学研究所・新分野創造センター)  
「樹状突起間の反発作用に基づく受容領域の自己組織化に関する研究」
- 4-27 A01 古川 貴久 (大阪バイオサイエンス研究所・発生生物学部門)  
「網羅的遺伝子解析によって同定した網膜視細胞形成に関わる遺伝子群の解析」
- 4-28 A01 吉原 良浩 (理化学研究所・脳科学総合研究センター)  
「樹状突起フィロポディアを構成する機能分子複合体の統合的解明」
- 4-29 A02 大西 浩史 (群馬大学・生体調節研究所)  
「チロシンリン酸化シグナルによる脳のストレス応答メカニズムの解明」
- 4-30 A02 竹本-木村さやか (東京大学・大学院医学系研究科)  
「アクチン動態を制御するCaMKK-CaMKIカスケードの神経機能解明」
- 4-31 A02 高森 茂雄 (同志社大学・生命医科学部)  
「エンドサイトーシス機構の分子進化的解析」
- 4-32 A02 大塚 稔久 (山梨大学・医学部)  
「ELKS/CASTファミリーによるシナプス伝達制御機構の分子メカニズムの解析」
- 4-33 A02 清中 茂樹 (京都大学・大学院工学研究科)  
「シナプス前終末におけるカルシウムチャネル複合体の集積・制御機構の分子基盤」
- 4-34 A02 田端 俊英 (富山大学・大学院理工学研究部)  
「GPCRヘテロ複合体による中枢シナプス可塑性の調整」
- 4-35 A02 中村 俊一 (神戸大学・大学院医学研究科)  
「スフィンゴ脂質による神経伝達物質放出機構の解析」
- 4-36 A02 木住野 達也 (長崎大学・先端生命科学研究支援センター)  
「ヒト、マウスにおける神経細胞特異的インプリンティング遺伝子の探索」
- 4-37 A02 柚崎 通介 (慶應義塾大学・医学部)  
「成熟脳におけるシナプス可塑性機構の解析と制御-2つの新しいツールを用いて」

- 4-38 A02 椎名 伸之 (自然科学研究機構・基礎生物学研究所)  
「局所的翻訳調節によるシナプス形成・可塑性制御メカニズムの解析」
- 4-39 A02 深田 正紀 (自然科学研究機構・生理学研究所)  
「PSD-95パルミトイル化酵素によるシナプス機能制御」
- 4-40 A02 深澤 有吾 (自然科学研究機構・生理学研究所)  
「神経細胞細胞膜上分子の動態制御機構の解析」
- 4-41 A03 和多 和宏 (北海道大学・大学院先端生命科学研究院)  
「発声学習臨界期制御に関わる遺伝子群の脳内機能」
- 4-42 A03 小川 園子 (筑波大学・人間総合科学研究科)  
「エストロゲン受容体を介した行動調節の脳内分子機構の解析」
- 4-43 A03 清水 貴美子 (東京大学・大学院理学系研究科)  
「K-Ras制御因子SCOPを中心にみた記憶形成のサーカディアン制御機構」
- 4-44 A03 森 寿 (富山大学・大学院医学薬学研究部)  
「情動学習制御の分子機構解析」
- 4-45 A03 吉村 由美子 (自然科学研究機構・岡崎統合バイオサイエンスセンター)  
「大脳皮質の経験依存的発達におけるNR2B-NMDA受容体の役割」
- 4-46 A03 本間 光一 (帝京大学・薬学部)  
「大脳領野への神経細胞選択的遺伝子導入法を利用した鳥類刻印付けの分子機構の解明」
- 4-47 A03 喜田 聡 (東京農業大学・応用生物科学部)  
「転写因子CREB情報伝達系による記憶制御機構の解析」
- 4-48 A03 糸原 重美 (理化学研究所・脳科学総合研究センター)  
「遅延型瞬目条件反射学習の二段階学習機構の解析」
- 4-49 A03 矢尾 育子 (関西医科大学・医化学講座)  
「SCRAPERを介した神経伝達制御機構の解明」

## 第5領域 「病態脳」

13:30-15:00 ポスターNo.の奇数番号

15:00-16:30 ポスターNo.の偶数番号

- 5-01 井原 康夫 (同志社大学生命医科学部)  
「 $\gamma$ セクレターゼの酵素学的性質の解明」
- 5-02 柳澤 勝彦 (国立長寿医療センター研究所)  
「Seed仮説に基づくアルツハイマー病の病態解明ならびに治療薬開発」
- 5-03 田平 武 (順天堂大学大学院)  
「アルツハイマー病の免疫機序の解析と新しい治療法の開発」
- 5-04 鈴木 利治 (北海道大学大学院薬学研究院)  
「アルカデイン代謝産物を利用したAD生化学的診断法の開発」
- 5-05 森島 真帆 (北海道大学大学院薬学研究院)  
「タウのコンフォメーション変化のタウオパチーにおける意義と抑制法開発」
- 5-06 富田 泰輔 (東京大学大学院薬学系研究科)  
「創薬標的分子としての新規 $\gamma$ セクレターゼ活性制御因子群の解析」
- 5-07 橋本 康弘 (福島県立医科大学医学部)  
「ベータ・セクレターゼ活性をモニターするためのバイオマーカーの検索」
- 5-08 富山 貴美 (大阪市立大学大学院医学研究科)  
「A $\beta$ オリゴマー仮説を検証する新しいアルツハイマー病モデルマウスの作製」

- 5-09 森 啓 (大阪市立大学大学院医学研究科)  
「アルツハイマー病脳アミロイドイメージングの分子論的解明」
- 5-10 岩田 修永 (独立行政法人理化学研究所 BSI)  
「ネプリライシンの活性低下による病理形成機構と活性制御機構の解析」
- 5-11 高島 明彦 (独立行政法人理化学研究所 BSI)  
「神経原線維変化形成機構」
- 5-12 樋口 真人 (放射線医学総合研究所 MIC)  
「アミロイドカスケードのキーププロセス可視化によるアルツハイマー病の診断・治療法開発」
- 5-13 村山 繁雄 (東京都老人総合研究所)  
「高齢者タウオパチーの臨床分子病理学的研究—嗜銀顆粒性認知症」
- 5-14 道川 誠 (国立長寿医療センター研究所)  
「アルツハイマー病発症機構における HDL 産生・供給機構の解明と治療への応用」
- 5-15 横田 隆徳 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)  
「内因性ベクターを用いた中枢神経系への新規 siRNA デリバリー方法の開発」
- 5-16 山口 芳樹 (独立行政法人理化学研究所 ASI)  
「NMR 構造生物学に基づいた薬物相互作用の解析と神経変性疾患への治療応用」
- 5-17 岩坪 威 (東京大学大学院医学系研究科)  
「パーキンソン病発症の分子機構に関する研究」
- 5-18 服部 信孝 (順天堂大学医学部)  
「パーキンソン病における神経細胞死の機序解明とその防御」
- 5-19 有賀 寛芳 (北海道大学大学院薬学研究院)  
「パーキンソン病 PARK7 の原因遺伝子 DJ-1 の機能解析」
- 5-20 高橋 良輔 (京都大学大学院医学研究科)  
「パエル受容体のドーパミンニューロンの機能維持と変性における役割の解明」
- 5-21 三浦 正幸 (東京大学大学院薬学系研究科)  
「神経変性シグナルの遺伝学的解析による疾患治療ターゲットの解明」
- 5-22 祖父江 元 (名古屋大学大学院医学系研究科)  
「ポリグルタミン病の病態解明とそれに基づく治療法の開発」
- 5-23 貫名 信行 (独立行政法人理化学研究所 BSI)  
「神経変性における蛋白凝集機構の解析」
- 5-24 郭 伸 (東京大学大学院医学系研究科)  
「孤発性 ALS におけるグルタミン酸受容体 RNA 編集異常の病因的意義の検討」
- 5-25 岡澤 均 (東京医科歯科大学難治疾患研究所)  
「ポリグルタミン病態における核ストレスの解析と治療応用」
- 5-26 西澤 正豊 (新潟大学脳研究所)  
「劣性遺伝性脊髄小脳変性症の分子病態の解明」
- 5-27 久保田 広志 (秋田大学工学資源学部)  
「ポリグルタミン凝集のダイナミクスと分子シャペロンによる毒性阻止」
- 5-28 永井 義隆 (国立精神・神経センター神経研究所)  
「ポリグルタミン病における可逆性神経機能障害の分子メカニズムの解明」
- 5-29 小松 雅明 (東京都臨床医学総合研究所)  
「凝集体形成分子 p62 による神経変性疾患封入体形成機構」
- 5-30 山中 宏二 (独立行政法人理化学研究所 BSI)  
「神経炎症の制御を標的とした筋萎縮性側索硬化症の治療法の開発」
- 5-31 長谷川 成人 (東京都精神医学総合研究所)  
「神経変性疾患における異常蛋白質蓄積機構の解明」
- 5-32 西川 徹 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)  
「統合失調症の分子病態の解明」

- 5-33 加藤 忠史 (独立行政法人理化学研究所 BSI)  
「双極性障害における小胞体ストレス反応系の意義についての研究」
- 5-34 福島 順子 (北海道大学医学部)  
「広汎性発達障害の視線解析と機能画像による病態の研究」
- 5-35 富田 博秋 (東北大学大学院医学系研究科)  
「精神疾患脳バンク構築のための基礎研究」
- 5-36 有波 忠雄 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)  
「遺伝学的根拠に基づく統合失調症のエピジェネティックな病態に関与する鍵分子の解明」
- 5-37 笠井 清登 (東京大学医学部附属病院)  
「遺伝子・生化学マーカー・神経画像解析を組み合わせた統合失調症の進行性脳病態の解明」
- 5-38 清野 泰 (福井大学高エネルギー医学研究センター)  
「機能性精神疾患の病態解明を目的とするノルアドレナリン神経機能イメージング法の開発」
- 5-39 尾崎 紀夫 (名古屋大学大学院医学系研究科)  
「14-3-3 $\epsilon$  を標的とした統合失調症と気分障害の分子病態解明」
- 5-40 宮川 剛 (藤田保健衛生大学総合医科学研究所)  
「統合失調症のカルシニューリン仮説に基づいた統合失調症発症メカニズムの解明」
- 5-41 橋本 亮太 (大阪大学大学院医学系研究科)  
「統合失調症脆弱性遺伝子ディスバインジンの遺伝子改変動物を用いた分子病態解析」
- 5-42 森信 繁 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科)  
「エピジェネティクスと大脳白質微細構造によるうつ病発症・難治化の機序解明」
- 5-43 植田 弘師 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)  
「ストレス性精神疾患の可視化とナノメディシン」
- 5-44 松本 直通 (横浜市立大学大学院医学研究科)  
「ゲノムブロック異常と精神神経疾患発症素因の解明」
- 5-45 河田 光博 (京都府立医科大学大学院医学部医学科)  
「臨界期ストレスの成体ホルモン応答に対する分子・構造・行動解析」
- 5-46 糸川 昌成 (東京都精神医学総合研究所)  
「大きな遺伝子効果を利用した統合失調症の病因研究」